

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
2 2 3	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
A pilot survey of dental health in a group of drug and alcohol abusers. アルコールと薬物乱用集団における歯の健康に関する試験的調査について	
執筆者	
Johnson D, Hearn A, Barker D.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Eur J Prosthodont Restor Dent. 2008 Dec;16(4):181-4	
キーワード	
歯科衛生、歯科受診、アルコール中毒、鎮痛剤 (アヘン) 中毒	
要 旨	
<p><b>目的：</b> 本研究はある中毒集団における歯の健康レベルを評価する事と、このグループの歯の健康と、歯科治療の受診の重要性に関する認知について明確にすることを目的とした。</p> <p><b>方法：</b> 精神科で、ある中毒において受診し治療を継続している患者を対象に調査した。50 人の患者は鎮痛剤かアルコールどちらかに対する依存性があり、彼らに対して歯科衛生に関する質問調査を実施した。基本的には歯科検診も実施された。</p> <p><b>結果：</b> 大多数の患者は中等度あるいはそれ以上に重度な歯に関する問題を抱えていた。その問題のレベルは、アルコール中毒者と比較して鎮痛剤の中毒者の間で重症度が高かった。大多数の患者が1年以内の歯に関する問題を抱えており、歯と航空内のケアを受ける事で問題が発覚した。</p> <p><b>結論：</b> このグループへの歯と口腔内のケアを改善することは、高い割合の歯の病気と歯科治療への利用が少ないという事への今後の挑戦を提示する結果となった。</p>	